

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公表番号】特表2014-508810(P2014-508810A)

【公表日】平成26年4月10日 (2014.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-018

【出願番号】特願2014-501251(P2014-501251)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/13 (2006.01)

A 6 1 K 9/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/13

A 6 1 K 9/24

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月20日 (2014.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作用剤をマトリックス中に含む作用剤層；および
弱塩基をマトリックス中に含む変換層
を含む経皮組成物。

【請求項 2】

変換層がカルボキシル化された成分を含む、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 3】

作用剤が塩として存在する、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 4】

作用剤がプロピニルアミノインダン類である、請求項 3 に記載の経皮組成物。

【請求項 5】

プロピニルアミノインダン類が N - プロパルギル - 1 - アミノインダンである、請求項 4 に記載の経皮組成物。

【請求項 6】

変換層のカルボキシル化された成分がアクリル系カルボキシル化ポリマーである、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 7】

アクリル系カルボキシル化ポリマーが、DuroTak（登録商標）87 - 2100 感圧接着剤中に存在するアクリル系カルボキシル化ポリマーである、請求項 6 に記載の経皮組成物。

【請求項 8】

変換層のカルボキシル化された成分が低分子量有機酸である、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 9】

低分子量有機酸が酢酸である、請求項 8 に記載の経皮組成物。

【請求項 10】

変換層の弱塩基がカチオン性アクリルコポリマーである、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 11】

カチオン性アクリルコポリマーがアミノ化メタクリレートコポリマーである、請求項 10 に記載の経皮組成物。

【請求項 12】

アミノ化メタクリレートコポリマーがメタクリル酸ジエチルアミノエチル、メタクリル酸ブチルおよびメタクリル酸メチルのコポリマーである、請求項 11 に記載の経皮組成物。

【請求項 13】

アミノ化メタクリレートコポリマーが E u d r a g i t (登録商標) E 1 0 0 アミノ化メタクリレートコポリマーである、請求項 12 に記載の経皮組成物。

【請求項 14】

作用剤層のマトリックスがカルボキシル化ポリマーを含む、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 15】

経皮組成物が感圧接着剤を含む、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 16】

経皮組成物が透過促進剤を含む、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 17】

経皮組成物が作用剤層と作用剤変換層の間に速度制御層を含む、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 18】

組成物が少なくとも 1 つの追加層を含む、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 19】

経皮組成物が長期間にわたって作用剤の一定フラックスを示す、請求項 1 に記載の経皮組成物。

【請求項 20】

長期間にわたる作用剤の一定フラックスを達成するのに十分な様式で対象の皮膚表面に適用するための請求項 1 ~ 19 のいずれか 1 項に経皮組成物。

【請求項 21】

長期間が 72 時間以上である、請求項 20 に記載の経皮組成物。

【請求項 22】

2 種類以上の経皮組成物を含み、その際、それぞれの経皮組成物が作用剤をマトリックス中に含む作用剤層；および弱塩基をマトリックス中に含む変換層を含む、キット。

【請求項 23】

変換層がカルボキシル化された成分を含む、請求項 22 に記載のキット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

【表 1】

表 1

試料	薬物層	変換層	適用/設計
1	20%メシル酸ラサギリン Gelva 7883中	6% E100 ; Duro-Tak 2100およびGelva 7883 (接着 剤比 1:3)中	2層設計; Scotchpak 9723を バックングとして 含む; 薬物層が皮膚と接 触
2	10%メシル酸ラサギリ ン, 3% E100 ¹ ; Duro-Tak 2100および Gelva 7883 ² (接着剤比 1:3)中	なし	1層設計; Scotchpak 9723を バックングとして 含む
3	20%メシル酸ラサギリン Gelva 7883中	0% E100 ; Duro-Tak 2100およ びGelva 7883 (接着 剤比 1:3)中	#2と同じ;ただし変 換層中にE100なし

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

注釈

1 . E100はEudragit E100(Evonik)である;

2 . Duro-Tak 2100(Henkel)およびGelva 7883(Cytec)は両方ともアクリレート系感圧
接着剤である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

